

3 本来の雑木林とはこのような林です

(1) 落ち葉を掻くため見通しが良い

雑木林のおもな生産物は薪炭材と落ち葉です。落ち葉は毎年ヘクタールあたり約6tが生産されています。

この落ち葉を掻き取りやすくするために林内の低木を刈り払うなどの管理が行われており、結果的には見通しのよい林内となっていました。

現在では、公園的利用で見通しをよくした雑木林があります。



昭和40年代の武蔵野の雑木林

(2) 比較的細い木が多い

神奈川県では雑木林の木は15～20年に1回伐採します。相模原市の一部では10年で伐採したこともありました。このくらいの雑木林の木はちょうど人力で伐採し、薪づくりをするには適した太さでした。



見通しの良い雑木林

(3) 株立ちの木が多い

切り株から萌芽するのが特徴です。このため根元は株立ちとなっているのが普通です。



切り株から更新しているコナラ